

令和5年度（2023年）秋季知財経営研究会ご案内 ～知財パラダイムシフト2023秋季～

下記の通り定例研究会を実施します。奮ってご参加ください。

開催日時：2023年10月26日（木）13～15時

開催方式：リアル（協会事務所定員10名）&バーチャル（Zoom定員200名）
Zoom URL 受付者に開催2日前（24日）にメールにて通知

申込み：協会HPお問合せ（<https://www.ipbrand.org/mail/contact.html>）
から10月23日（月）までに申込み、
リアルはその旨記載・先着順、バーチャルは参加代表者と参加人数記載、
参加は無料、だれでも申し込み可能の公開講座、
但し、協会申込み手続きのない参加は認めない。
* 録音・録画禁止、無断転用配信禁止（著作権法等で保護）。

議題：

議題1 『世界中での知財保護活用～不正競争防止法』 会長兼理事長 講演
議題2 『大転換』 吉田繁治理事・クールナレッジ代表 講演

* 添付資料参照（各議題は1時間、質疑数分を含む）

議題1 世界中での知財保護活用～不正競争防止法

○講演趣旨

冒頭に、日本の経済的な後退の真因並びにその対策を述べ、WTO加盟国(164ヶ国)で保護活用できる不正競争防止法等を中心にして、分かりやすく知財登録との関係を含めて講演し、知財パラダイムシフトを啓発・鼓舞(Inspire)する。

議題2 大転換

○講演趣旨

コロナパンデミック、ウクライナ戦争を経て、世界の経済・金融・社会が、80年ぶりの、パラダイムの転換をしようとしている。しかしその方向は、ほとんどの人と、メディアには見えていない。本講では、最近著の『大転換』の骨子をたどって、通貨の基礎からの5年がかりの転換が2022年に始まったことを示し、デジタル通貨までの変化を示す。日本にとっては、既得権益が崩壊した、明治維新に相当する。米国にとっては1913年のFRB設立以来の転換である。欧州と英国にとっては、第二次世界大戦以来の転換である。